

公益財団法人札幌交響楽団
第52期 事業計画書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

公益財団法人札幌交響楽団は、定款第2章第3条に基づき、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上に関し、必要な事業を行い、もって札幌市及び北海道における文化と教育の振興に寄与することを目的とする事業を行う。

一般会計事業

定款第4条に掲げる事業を次のように行う。

(1) 札幌交響楽団を編成し、及び維持すること。

音楽監督・正指揮者・首席客演指揮者各1名、楽団員76名で維持編成する。

(2) 交響管弦楽の演奏を行うこと。

オーケストラによる演奏会を120公演開催する。(ヨーロッパ公演と帰国記念公演計6公演を除く)

自主公演 合計43公演

札幌交響楽団主催の自主公演を次のとおり開催する。

創立50周年記念「ベートーヴェン・ツィクルス」として第541回から第544回までの定期演奏会と年末恒例の「札幌の第9」でベートーヴェンの交響曲全9曲を演奏、この年度の本拠地キタラで行う最大の企画になる。

定期演奏会の入場者数は、「ベートーヴェン・ツィクルス」と50周年記念に相応しい華やかなプログラムで、年間3万人を目指す。(資料①参照)

- ・ 定期演奏会(第538回～第547回)・・・20回(10プログラム各2公演、全20公演)
- ・ 名曲シリーズ・・・・・・・・・・・・・・4回
- ・ 特別演奏会・・・・・・・・・・・・・・19回

札幌市内(12公演)【全公演キタラで開催】

1. 「アキラさんのモダンコンサート」4月17日
2. 「シンフォニック・ブラス」5月7日
3. 「ラフマニノフ/ピアノ協奏曲全曲」7月16日・・・(約3時間の新企画)
- 4~5. 「ポップス・コンサート」7月20日(2公演)
6. 「海の日記念コンサート」7月24日
- 7~8. 「アキラさんの大発見コンサート」8月7日(2公演)
9. 「三大交響曲」8月30日
10. 「北の精鋭アーティストたち」9月16日
- 11~12. 「札幌の第9」12月17日、18日(2公演)

道内地方（5公演）

学校行事の少ない道内地方で地元にあまり負担をかけずに演奏会を開催する。

1. 「ニセコ公演」 4月16日
2. 「中頓別公演」 6月19日・・・（初訪問）
3. 「森公演」 9月19日
4. 「小樽公演」 1月28日
5. 「岩内公演」 3月11日

道外公演（2公演）

1. 「西宮公演」 3月20日・・・（ロームミュージックファンデーション助成）
2. 「東京公演」 3月21日・・・（ホクレンクラシックスペシャル）

依頼公演 合計45公演

各種団体、企業、自治体などが主催する演奏会に出演する。

- ・ 市内公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23回
- ・ 道内地方公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21回
- ・ 道外公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回・・・浜松公演

北海道新聞社、北海道電力、札幌市芸術文化財団、PMF組織委員会、北海道教職員厚生会、浜松市（初訪問）はじめ多くの企業団体の支援を受けて開催する。道内地方公演では愛別町（初訪問）を企画している。

※以上の公演内容の詳細については資料②参照

（3）青少年の音楽鑑賞及び演奏に関し、指導を行い、その普及を図ること。

オーケストラによる音楽教室 合計32公演

- ・ 市内公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15回
- ・ 道内地方公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9回
- ・ 文化庁学校公演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8回

文化庁主催の学校公演は全国の小中学校で開催される大規模な演奏旅行。公演数、開催日程は4月頃に決定されるが、現在2週間分の日程に近畿地方で5公演が内定、更に例年通り追加公演が入るとみて、計8公演を見込んでいる。

体験型音楽教室では、楽団員と児童・生徒が音楽を通して交流を深め、鑑賞するだけでなく演奏に参加して得られる感動を広めることがねらい。回数は特に定めていない。

- ・ ワークショップ（音楽創造体験プログラム）
- ・ 楽器講習会（演奏指導）

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

1) 広報宣伝

・プログラムの発行

定期演奏会ははじめ自主公演では毎回、音楽評論家等による研究論文、楽曲解説、楽団の活動報告、楽団員紹介を載せたプログラムを発行、公演来場者及び会員、関係先に配布する。

・ニュースレターの発行

札幌交響楽団の活動報告、公演案内など、最新情報を掲載したニュースレターを年に4回発行する。

・ホームページによる広報

札幌交響楽団の最新情報を掲載し、チケット予約を受け付けるほか、定期会員・パトロナージュ会員の入会案内を行う。

2) その他の公演事業

・アンサンブル

聴衆開拓のために楽団員によるアンサンブル演奏会を開催する。コンサートホール以外の様々な場所でも演奏することによって、普段クラシック音楽にあまり縁がなかった方々にも札幌の存在をアピールする。

・慰問演奏

障害者施設、特別支援学校、老人ホームなどに楽団員が出向き、コンサートに出かけることのできない方々に音楽鑑賞の機会を提供するなど、社会貢献活動を積極的に行う。

周年記念事業

定款第4条に掲げる事業を次のように行う。

(1) 札幌交響楽団を編成し、及び維持すること。

音楽監督・正指揮者・首席客演指揮者各1名、楽団員76名で維持編成する。

(2) 交響管弦楽の演奏を行うこと。

オーケストラによる演奏会を6公演開催する。

- プログラムA 武満徹／ハウ・スロー・ザ・ウィンド
プロコフィエフ／ヴァイオリン協奏曲第1番ニ長調 Op.19
チャイコフスキー／交響曲第6番ロ短調 Op.74「悲愴」
- プログラムB 武満徹／ハウ・スロー・ザ・ウィンド
ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 Op.26
ショスタコーヴィチ／交響曲第5番ニ短調 Op.47
- プログラムC 武満徹／ハウ・スロー・ザ・ウィンド
ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 Op.26
チャイコフスキー／交響曲第6番ロ短調 Op.74「悲愴」

指揮：尾高忠明（音楽監督）

独奏：諏訪内晶子（ヴァイオリン）

1. 「ミュンヘン公演（ドイツ）」 5月22日 20:00 開演
会場：フィルハーモニー・アム・ガスタイク（2,387席）
プログラムA
主催：トニカレ・ミュージック・アンド・イヴェンツ
後援：バイエルン独日協会
2. 「ロンドン公演（イギリス）」 5月23日 19:30 開演
会場：ロイヤル・フェスティバル・ホール（2,900席）
プログラムB
札幌自主公演
3. 「サレルノ公演（イタリア）」 5月25日 21:00 開演
会場：テアトロ・ヴェルディ（615席）
プログラムC
主催：サレルノ市
4. 「ミラノ公演（イタリア）」 5月26日 21:00 開演
会場：テアトロ・ダル・ヴェルメ（1,420席）
プログラムC
主催：テアトロ・ダル・ヴェルメ
5. 「デュッセルドルフ公演（ドイツ）」 5月27日 20:00 開演
会場：トーンハレ（1,933席）

プログラムA

主催：デュッセルドルフ・トーンハレ

6. 「札幌公演（日本）『帰国記念演奏会』」 6月4日 19:00 開演

会場：札幌コンサートホールKitara 大ホール（2,020席）

プログラムC

札幌自主公演

ミュンヘンとデュッセルドルフの2公演は「日独交流 150周年」の一環として開催される。

※以上の旅程は資料③参照

(3) 青少年の音楽鑑賞及び演奏に関し、指導を行い、その普及を図ること。

一般会計事業として実施

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。

記録録音の整理

第1回定期演奏会以来の札幌の演奏記録を整理し、永久保存する。傷みの激しいアナログテープ、DATなどをも修復しながらデジタルコピーを進めている。

『札幌50周年記念誌』の発刊

北海道の音楽文化そのものである札幌交響楽団の通史、活動記録、資料などからなる。歴代指揮者たちとの名演をCD1枚に編集し添付する。

平成23年8月末日の完成、9月10日の定期演奏会終演後の「50周年記念パーティー」で発表予定。

「札幌合唱団」の育成

平成18年度に設立した「札幌合唱団」を引き続き育成する。50周年記念の「ベートーヴェン・ツィクルス」最終回になる12月の「札幌の第9」に出演、これまでの成果を披露する。

「ベートーヴェン・ツィクルス」の演奏CD化

9月から12月までの「定期演奏会」と「札幌の第9」からなる「ベートーヴェン・ツィクルス」全公演を録音し、5枚組CD「ベートーヴェン交響曲全集」を制作する。

※ 注釈 ベートーヴェンの交響曲全曲は、既に世界中の名オーケストラが数々の名演を残しているため、聴衆の評価も極めて厳しい。札幌が50周年を迎えるこの時期に「ベートーヴェン交響曲全集」の録音を行い、そのCDを世界に発信することは、これからの札幌の可能性を広くアピールすることになり、大きな挑戦である。

別紙

平成 23 年度 北海道にむけての札幌交響楽団の活動

札幌交響楽団は、定款に定めるように「・・札幌市及び北海道における文化と教育の振興に寄与することを目的とする事業を行う」が、その中でも特に北海道ならびに北海道民に対して特筆すべき事項を以下に記す。

特別演奏会（抜粋）

1. 「シンフォニック・ブラス」

北海道内の学生の吹奏楽との共演など、吹奏楽ファンをクラシックの世界へ引き込む企画。

2. 「ラフマニノフ／ピアノ協奏曲全曲」（新企画）

平成 22 年度に実施した「札幌リクエストコンサート」の中で、道民の間で特にリクエストが多かったラフマニノフに焦点を当てた平成 23 年度新企画である。

3. 「ポップス・コンサート」

ポップスの巨匠服部克久が作編曲・指揮を行い、人気ゲストとともにオーケストラの世界へ観客を誘う。

4. 「アキラさんの大発見コンサート」

乳幼児から楽しめる家族一体型のクラシックコンサートを NHK 子供向け音楽番組で知られる宮川彬良とオーケストラが演出する。

5. 「北の精鋭アーティストたち」

北海道の優秀な音楽家をオーディションで選抜し、オーケストラと共演することでこれからのステップアップを期待する。

道内地方

平成 22 年度に引き続き、全道全市町訪問を目指し、6 月には中頓別、7 月には愛別でオーケストラ演奏会を初めて開催する。（初開催）

本公演以外に子供のための室内楽演奏をオーケストラを聴く機会のない地域の学校などで実施。（新企画）